令和4年 東広島市の主な出来事

目次

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大・新型コロナウイルスワクチン接種の実施	3
・髙垣市政2期目の始動	4
・第五次東広島市総合計画地域別アクションプログラムの策定	5
・東広島市ゼロカーボンシティ宣言	6
・第3次東広島市都市計画マスタープランの策定	7
・広島大学スマートシティ共創コンソーシアムの設立	8
・小児周産期医療体制の強化	9
・志和小学校の開校	10
・河内小学校の移転	11
・学校支援センターの設置	12
・道の駅西条のん太の酒蔵の開業	13
・住民基本台帳人口が19万人を突破	14
・マイクロンメモリジャパン株式会社が1β世代DRAMの量産を開始	15
・髙垣市長のイクボス宣言	16
・広島県水道広域連合企業団の設立	17
・「広島県安芸国分寺跡土坑出土品」国の重要文化財(美術工芸品:考古資料)指定	18
への答申	

新型コロナウイルス感染症の感染拡大・ 新型コロナウイルスワクチン接種の実施

感染力が高いオミクロン株を中心に、引き続き、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、終息が見通せない中、予防接種法に基づく特例臨時接種として、新型コロナウイルスワクチン予防接種を実施した。



髙垣市政2期目の始動

1月30日投開票の東広島市長選挙において、髙垣市長が再選し、2月4日から2期目が始動した。



第五次東広島市総合計画 地域別アクションプログラムの策定

市民とまちづくりの取組みを共有するとともに、地域の特性、実情に応じたまちづくりを推進するため、9つの地域別にアクションプログラムを策定した。



東広島市ゼロカーボンシティ宣言

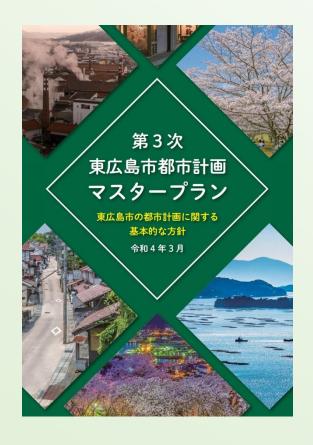
誰一人取り残さない持続可能な社会を目指す「SDGs」の理念の下、「やさしい未来都市 東広島」の実現に向け、温室効果ガスを実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明した。





第3次東広島市都市計画マスタープラン の策定

本市における都市づくりの方向性を示すため、夢と希望に満ちた「やさしい未来都市」を目標とした都市計画マスタープランを策定した。





広島大学スマートシティ共創コンソーシアム の設立

広島大学との「Town & Gown」の取組みに賛同した民間企業と共に、「東広島市次世代学園都市構想」の推進母体となる「広島大学スマートシティ共創コンソーシアム」を設立した。(政策推進監)





小児周産期医療体制の強化

慢性的な医師不足への対応として、広島大学に寄附講座「広島中央地域・小児周産期医療支援講座」を設置し、東広島医療センターの小児・周産期医療体制の強化を図った。 また、休日診療所における小児科の診療空白日の解消が実現した。





志和小学校の開校

西志和小学校と東志和小学校が統合し、志和中学校敷地内に志和小学校が開校した。施設一体型の小中一貫校とした。



河内小学校の移転

河内小学校が河内中学校敷地内に完成した新校舎に移転し、小中一貫校とした。



学校支援センターの設置

学校支援センターを設置し、市内の小中学校に赴任した採用5年目の若手教員を対象に 退職教員による伴走型の支援等を行う取組みを開始した。





道の駅西条のん太の酒蔵の開業

東広島市で2つ目の道の駅「道の駅西条のん太の酒蔵」がオープンした。





住民基本台帳人口が19万人を突破

本市で初めて住民基本台帳人口が19万人を超えた。(9月末時点:190,092人)



マイクロンメモリジャパン株式会社が 1β世代DRAMの量産を開始

マイクロンメモリジャパン株式会社は、5G促進法に基づく特定半導体生産施設整備等計画を策定し、国の助成を受けて、他社に先行して1β世代DRAMの量産を開始した。 投資額:約1,394億円(設備投資)、助成額:最大465億円





髙垣市長がイクボス宣言

髙垣市長が、職場で働く職員のワークライフバランスを考え、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことを目指す「イクボス宣言」を行った。



広島県水道広域連合企業団の設立

広島県及び県内14市町にて、水道事業等を統合し企業団を設立した。準備期間を経て、 令和5年度から企業団として事業を開始した。



「広島県安芸国分寺跡土坑出土品」国の重要文化財(美術工芸品:考古資料)指定への答申

史跡安芸国分寺跡で見つかった創建後間もない時期の一括出土品で、第一級の重要資料について、国の重要文化財指定への答申がなされた。美術工芸品としては、東広島市第1号の国重要文化財。



